

## ◇板橋区無電柱化推進計画策定へ

ロンドン・パリ・香港は無電柱化は100%  
ソウルでも46%である中で、東京23区は国道・都道合わせて8%。板橋区は区道68.3km中、無電柱化はわずか約2.3km(0.33%)

しかし、無電柱化には現在、1kmあたり約5.3億円という莫大な費用と工事の長期化という課題があります。そこで、板橋区は、災害の防止、安全かつ円滑な交通の確保、良好な景観の形成等を図るため、無電柱化の推進に関する法律に基づき、東京都無電柱化チャレンジ支援事業制度を活用した「板橋区無電柱化推進計画」の策定を進めています。

<路線選定の手順>

無電柱化候補路線を抽出

→整備候補路線 無電柱化候補路線から点数付けをして選定された約20路線

→チャレンジ候補路線

上記20路線から歩道幅員2.5m未満の路線または歩道がない道路2路線を選定



## ◇東京都功労者表彰受賞!

24年間の板橋区議会議員としての活動をご評価いただきましたことに心より感謝申し上げます。



## ◇今後の予定

<2月>

19日 都市建設委員会

25日 子どもの貧困対策調査特別委員会

27日 補正予算 総括質問

<3月>

1日 本会議

6日 本会議 代表質問

8日 当初予算 都市建設分科会

10日 防災訓練 板二中

14日 当初予算 総括質問①

15日 当初予算 総括質問②

17日 板橋区剣道開放団体錬成大会

18日 **当初予算 総括質問③ 質問に立ちます!**

20日 板橋二中卒業式

22日 本会議

24日 **おなだか 勝 区政報告会**

**18:30 グリーンホール2F**

25日 板橋五小卒業式

<4月>

14日 板橋区長選挙・区議会選挙 告示日

21日 板橋区長選挙・区議会選挙 投開票日

### おなだか 勝 区政報告会

◇日時 3月24日(日) 18:30

◇場所 グリーンホール2F

◇会費 3,000円

お誘いあわせの上、ご参加下さい

<プロフィール>

- ・昭和35年生まれ 58歳
- ・板橋二中、小石川高校を経て 昭和59年東京学芸大学教育学部卒
- ・平成7年初当選以来6期連続当選 監査委員、文教児童委員長等歴任
- ・国民民主党東京都連副会長
- ・小石川紫友同窓会副会長、幸會睦青年会会長、大山青少年剣友会顧問

## ◎坂本 健 区長と共に板橋区政を前に前に進めて参ります!

そのために私は行政に対して以下の5項目を求めて参ります。

### 1. 行政改革

- ・限られた財源の中で最大限の区民サービスの実現するため、行政改革について不断の努力をすること
- ・個人情報漏洩、紛失、誤送付事故に対する危機感を持ち、全庁的な意識改革と積極的な情報セキュリティの向上策を図ること

### 2. 危機管理

- ・都市型水害対策のさらなる前進を講ずること
- ・震災対策の実効性の向上のための施策を図ること

### 3. 教育・子育て

- ・小中学校体育館の冷房化を計画的に推進すること
- ・保育所待機児童の解消のために認可保育所及び小規模保育園の増設と認可外入所者への負担軽減に努めること
- ・教員の負担軽減のため、人的対応も含め、適切な措置を講ずること
- ・学校と教育委員会は、いじめ、不登校、学力不振児対策などの諸課題を一致協力して取り組む体制を強化すること
- ・あいキッズ運営は、安心・安全を最優先にすること

### 4. 公共施設整備計画

- ・集会所の統廃合は、地域事情を勘案し慎重に対処すること
- ・旧板橋保健所跡地については、早急に跡地利用計画を立てること

### 5. まちづくり

- ・高島平グランドデザインについては、広範な意見を集約し、合意形成に努めながら進めること
- ・大山の補助26号線延伸、クロスポイントの再開発と東武東上線の立体化の早期実現に向け、地域住民の意見を集約して、合意形成に努めること



## ◇平成31年度予算案審議スタート!

### 1. 財政規模の推移(当初予算ベース、単位:百万円) ※特別会計は略称

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
一般会計	202,570	206,900	209,270	216,270
国民健康保険	70,120	70,060	59,160	56,540
介護保険	37,636	40,154	39,632	41,400
後期高齢者医療	10,623	11,028	11,518	12,007
東上線立体化	—	—	—	20

### <歳入>

- ・一般会計は、前年度と比較して70億円、3.3%増の2,162億7,000万円です。
- ・特別区交付金は企業業績を反映し、過去最高額の702億円、対前年度比6億円の増収です。
- ・特別区税も465億5,000万円、対前年度比3億6,000万円の増収見込みとなりますが、ふるさと納税による影響が年々拡大し、本来入るべき税収が14億円余り減となるのは見過ごすことはできません。
- ・東武東上線連続立体化事業のために財政調整基金から積立金に充てる45億円の繰入れを除けば、前年度に引き続き、収支均衡型予算を編成できることとなりました。

区政に対する、ご要望・ご提案・ご質問をお寄せください。真摯にお応えいたします!

板橋区議会議員

# おなだか 勝 事務所

〒173-0034 板橋区幸町51-9 <http://onamasa.com/>

電話:03-3554-0965 FAX:03-5966-9595

メールアドレス:onamasa.10.10@jcom.home.ne.jp



〈歳出〉

- ・福祉費は、国民健康保険事業特別会計への繰出金が12億円余の大幅減となったものの、民間保育所の新規開設などの保育所待機児童対策、障がい者自立支援給付費などの増により、対前年度比19億3,000万円、1.6%の増となりました。
- ・教育費は、金沢小学校増築工事及び八ヶ岳荘大規模改修工事の終了や小学校へのタブレットPCの配備完了などにより、対前年度比8億9,000万円、3.6%の減となりました。
- ・土木費は、東武東上線立体化事業を目的とした基金の設立や今後の改築・大規模改修需要への対応のための住宅基金への積立てなどにより、対前年度比58億8,000万円、38.6%の増となります。

2. 基金と特別区債残高の推移(単位:億円)

- ・基金は、長期的視点に立って財政の健全な運営を図るため、将来の行政需要に備えて設けるものです。「財政調整基金」「減債基金」並びに義務教育施設整備基金や公共施設等整備基金などの「その他特定目的基金」が12あります。
- ・特別区債は、区が税等の収入不足を補うため資金調達することによって負担する借金であり、償還が一会計年度を超えるものをいいます。

	10年度	20年度	29年度	30年度	31年度
財政調整基金残高	19, 5	139, 4	205, 2	264, 5	219, 6
基金合計残高	130, 9	442, 1	527, 9	691, 9	691, 1
区債残高	912, 7	442, 3	344, 7	348, 6	348, 1

- ・財調基金は、31年度は東上線立体化事業に45億円繰り入れたので激減していますが、年度中の補正で変化します。
- ・平成9～10年当時は大きな区債を抱える一方、基金は枯渇の可能性があります。現在は、将来需要を見越して基金は大きくなり、区債残高はここ数年安定しています。  
※30、31年度は残高見込みです。

3. 代表的事業内容

(1) 保育所整備

平成28年度は1050人の定員増加、29年度中には認可保育所新設で463人、小規模保育所の新設で57人、また事業所内保育所の新設で13人、さらに既存認可保育所の定員増で103人など計636人の定員増となりました。30年度中は、認可保育所7ヶ所、小規模保育所6ヶ所、事業所内保育所1ヶ所、既存認可保育所の定員増、幼稚園型認定こども園を新設するなど612人の定員増を予定しました。

31年度には計**437名以上増予定**

- ①認可保育所 5施設 320名以上の定員増
- ②小規模保育所 2施設 38名増
- ③事業所内保育所 1施設 約19名増
- ④既存認可保育所増改築 60名増

※都営住宅建替で区立大山西町保育園を移設、民営化により定員93名→120名

(2) プレミアム商品券発行

2019年10月の消費税率の引き上げを見据え、区内の消費喚起をすることで商業活性化を図るため、国のプレミアム商品券とは別の時期に「板橋区内共通プレミアム商品券」を発行します。

発行総額 **11億円**

※プレミアム分1億円含む プレミアム率10%

(3) 自転車シェアリングシステム導入

- ・サイクルポート40箇所、自転車200台 観光資源が集積している赤塚地域に導入!  
6月にリニューアルオープンする美術館  
→郷土資料館→赤塚植物園→赤塚大仏などの神社仏閣  
→旧粕谷家住宅



プレミアム商品券

(4) クラウドファンディング型ふるさと納税の導入

昨今のふるさと納税の返礼品競争の煽りを受けて、板橋区に入るべき税は平成31年度は約14億円の減収となる見込みです。

板橋区では、返礼品競争によらず、社会的意義のある事業または区のプロモーションにつながる事業を対象としたクラウドファンディングを開始します。

・植村直己生誕80周年記念事業

植村直己生誕80周年を迎える2021年に東板橋体育館と複合化される植村冒険館をリニューアルするのに合わせて、国内に限らず世界中から寄附を募ります。

・「旧粕谷家住宅」の保存・管理

文化財古民家「旧粕谷家住宅」の保存・管理にかかる経費について寄附を募ります。

・児童養護施設卒園者住まい応援プロジェクト

区内児童養護施設を満年齢で卒園する者のうち進学者を対象に家賃の一部を助成する資金を募ります。

4. 体育館の冷房化

近年の夏の異常な暑さから、子どもたちの健康を守るためにも、大規模災害に際しての避難所機能を充実させるためにも、小中学校の体育館の冷房化は必要であると求めて参りました。

現在、改築中の板十小の体育館の設計変更と旧向原中跡地にできる新上板二中の冷房化の検討に入ったことはお伝えいたしました。

**新年度予算に於いては、区内5地域の中学校5校に冷暖房機器各6機程度を設置することが盛り込まれました!**

- ・板橋二中 ・桜川中 ・中台中 ・赤塚二中 ・高島二中



板二中体育館

5. 大山のまちづくり

大山のまちづくりは東上線立体化事業の特別会計が組まれますが…

①補助26号線の延伸

平成32年度中の完成に向け用地買収が進んでいます。北区志茂一丁目の東京都の道路拡幅事業に対する反対訴訟は、1/30に東京地裁において住民の請求を棄却する判決が出ました。

板橋区や品川区など計5件でも同様の住民訴訟が起こっていますがこの判決の持つ意味は大きいと思います。

②クロスポイント再開発

再開発組合の設立を経て、平成32年度中の工事着工を予定しています。

しかし、補助26号線延伸と共に問題となっているのは、ハッピーロードのアーケード撤去についての東京都との補償交渉が進まないことです。

140mとも170mとも言われるアーケード撤去の費用自体に対する補助はないのか、立ち退き店舗が多くなればなるほど重くのしかかる組合費や光熱費負担に対する補助はどうなるのかが問題です。



商店街の空き店舗

③東上線高架化と駅前広場

東京都が東上線立体化を高架化することで、板橋区は駅前広場を左図のようにすると発表しました。

12月16日・17日には都市計画案説明会を実施し、住民からの意見書を求めたところ、高架化・駅前広場双方に対して約800本ずつの意見書が提出されたとのこと。

また、駅前広場設置で立ち退きを余儀なくされる権利者約80件のうちの約50件のマンション所有者と全く接触ができていない中で、残りの約30件の権利者に反対者が多いのも問題です。意見書の内容や反対が半数以上を占めるような場合、31年度中の都市計画審議会を経ての都市計画決定は性急と言わざるを得ません。



駅前広場図